

Q. 56 なぜ、動物は自分の姿を自分ではっきり見ることが出来ないのに群れで行動することが出来るんですか？（平成21年10-11月）

鏡に写った自分の姿を見て、それを「自分」と認識できる動物はヒト・類人猿・イルカ・ゾウだといわれています。しかし、人も生まれてすぐに自分分かるわけではありません。

生まれた後の学習によって学んでいくことになります。そのなかで、群れとして行動することも学んでいきます。



チンパンジー♀(コイコ)のビデオカメラ遊び

<http://www5.city.kyoto.jp/zoo/wrc/wrc-blog>

しかし、カモ類や草食獣のように生まれてすぐに独り立ちする動物の中には、初めて目にした動く物体を親として認識して行動するようになることがあります。ただし、種によっては鳴き声も一致しなければ親として認識しないなどの違いもあります。

これは「刷り込み」や「インプリンティング」と呼ばれ、特定の物事がごく短時間で覚えこまれ、それが長時間持続する学習現象の一つです。



このような現象もあるため、人間が親代わりに育てると、自分を人間と認識して本来の種の繁殖の障害となることもあります。

当園では、チンパンジーやシロテテナガザル・

マンドリルの数字の勉強やゾウの馴致などを通して、動物たちの知性を感じていただくとおもいます。

